

2020年度 春号

Communication

通信



◆ 発行日 2020年4月 ◆ 発行 認定NPO法人 フリースペースたまりば

〒213-0022 川崎市高津区千年435-10

TEL 044-833-7562

FAX 044-833-7534

<http://www.tamariba.org>

E-mail : freespace@tamariba.org

幻の！たまりばフェスティバル 2019

3月7日に予定していたたまりばフェスティバル。フェスティバル実行委員会であるプロジェクト X お手製の日めくりカレンダーを毎日めくり、フェスティバルまでの日数を指折り数えては「え？終わらなくない？やばくない？」という焦りを覚えるえんの人々。「これやるから手伝って！」「練習やるよ～」と、ワッサワッサと準備を進める日々を過ごしていたある日、アイツ…新型コロナは突然やってきました。アイツは瞬間に世界中で猛威をふるい、世間もざわざわ、えんもざわざわ。様々に話し合いを進めた結果、ついに、残念ながら、今年度のフェスティバルの中止が決まりました。

毎年夏に行っている八丈島合宿では、船に乗って八丈島に向かったにもかかわらず台風によって上陸することができず、そのまま引き返した年があったそうです。たまりばが続いていく中で「あの年はフェスティバルがなかったんだよ」と語り継がれていく言い伝えのひとつが新たに生まれた瞬間に立ち会ったのかもしれない。

というわけで、これから語り継がれていくかもしれない、幻のフェスティバルの中身を紹介していきたいと思います！

今回発表されるはずだったのは全部で16演目。今回は例年よりも個別のグループで出演を希望する人が多かったようです。それぞれこだわりの衣装・大道具を用意していたり、演目がばれないようにこっそり練習する姿があったり…。「練習もしたい、講座も出たい、サッカーもやりたい、けど時間が足りない！」と困っている姿はどこか楽しそうでした。講座でやっている歌やダンス、フォルクローレの練習にも熱が入っており、特に五郎劇団のラストシーンは感動の仕上が

り。舞台上ではどうなっていたのか、当日のドラマはわたしたちの想像の中で楽しめるかも！？



今回フェスティバルを支えた実行委員会・プロジェクト X は、長年えんにいる人たちからフェス

ティバルに出ることがない人たちまでさまざまに混ざりあったメンバーでした。パソコン技術が大幅に上がったプロジェクトのみんな、当日に配布する演目紹介用のパンフレットや司会用の台本など、当日に使用する作成物を進化させるべくこつこつと準備を進めていました。どういう形で完成するのか、幻のパンフレットが実物になる(はずの)来年度のたまりばフェスティバルに、乞うご期待です！

わたし自身フェスティバル初参加(の予定)でしたが、プロジェクト X に参加していくなかで、それぞれがそれぞれのこだわりを持ち寄って、うまいこと折り合いをつけながら進めていく姿に、その人の個性がそのまま魅力になる機会があるのが「えん」なんだと感じる数か月でした。協力してくださったたくさんの方々に、この場を借りてお礼をお伝えできればと思います。次のフェスティバルでまた会いましょう！(はるひ)

認定NPO法人
フリースペース
たまりば
って…？

1991年川崎市高津区で、学校や家庭、地域に居場所を見出せない子ども・若者たちの居場所として活動をスタート。2003年にNPO法人の認証を受け、同年7月にオープンした「川崎市子ども夢パーク」内の不登校児童・生徒のための居場所「フリースペースえん」の運営を市より委託される。指定管理者制度の導入により、2006年4月から川崎市生涯学習財団と共同で夢パーク全体(フリースペースえんを含む)の管理・運営を行なっている。さまざまな活動を通じ、学校外の多様な学びと育ち、生き方を支援している。

たまりバラエティ

合宿最高～!

今年も昨年に引き続き長野県の木島平へ! 直前までどこも雪が少なく、滑れるかドキドキでしたが、2日間めいっぱい滑ることができました。今回はスノーボー初挑戦の子が多く、行く前から動画でイメージトレーニングをしたりとやる気満々。初心者にはインストラクターの資格を持つOBカズキが靴の履き方から丁寧に教えてくれました。やりたい気持ちが溢れるみんなは転びながらどんどん挑戦していく。コースを通りかかったスキーマンと合流して一緒に滑ったり。リフトが終わる時間ギリギリまで滑ったあとはペンションに戻ってそれぞれ好きに過ごします。部屋で仲間たちと動画を撮って楽しんだり、リビングに集まりカードゲームで盛り上がったり、恋バナしたり…ベテランのお兄さんたちがフォルクローレを格好良く演奏してくれて、宿の人たちは大喜びでした。普段18時までしか一緒にいないみんなと夜も朝も一緒に過ごすってなんだか嬉しいね。スキー・スノーボーをめいっぱい滑った人もいればペンションで好きなことをして過ごす人もいて今年もえんらしい合宿になりました。(あかり)



大事な人はすぐそばに…

3月19日(木)に、東高根森林公園で“春だ!春だ!&バーズデーパーティ”(巣立ちの会)を開きました。

フリースペースえんには「卒業式」がありませんが、4月から進学や就職などで新しい場所へ移っていく人もいます。これからのことをみんなで報告しあい、応援しあう「巣立ちの会」を毎年開いています。子どもたちが発表すると大きな拍手とたくさんのかげ声が。開き始めた桜とあたたかな日差しの中、みんなの顔が輝いていました。

スタッフでは、県教育委員会から派遣され一年間一緒に過ごした高校教師のハギタン(矢萩紗耶香さん)、そして、昨年結婚したアカリ(遠藤明梨さん)が、えんを巣立つことになりました。みんなからの心をこめた贈り物を手渡し、スピーチを聞きながら涙と笑いでぐちゃぐちゃ、最後にみんなで歌った歌詞は…「ほら、あなたにとって大事な人ほどすぐそばにいるの♪…」いつもそばにいてくれてありがとう!これからも顔を見せに来てね!(たかこ)



初夢!新春イベント

1月12日(日)に毎年恒例の新春イベントが開催されました。お天気が心配されましたが、イベント中は晴れ間も見られ寒空の中、約900人が来場しました。

どんど焼きの火を子ども達と共に点火。もちつき体験では多くの親子連れ参加があり、みんなで「よいしょー」の掛け声で大盛り上がり。つきたてのきなこあんこのお餅はあつという間に売り切れました。満腹になったら昔遊びのコーナーへ。ベーゴマ、めんこ、お手玉、おはじき、福笑いなど。「かるた大会」も開催され小学生～高校生まで白熱した大会が繰り広げられました。書初めコーナーでも手足を真っ黒にしながらかく多くの方がチャレンジ。地域の方々の協力を得ながら、年の始めにふさわしい美味しく楽しい素敵な1日を過ごすことができました。(のぞみん)



認定NPO法人フリースペースたまりば、ついにFacebookページを開きました!既にくつつかの記事が投稿されていま

すが、たまりばの日常、子どもたちの遊びや学びのこと、イベントのお知らせなどを、Facebookページにて掲載していきます。今後は、かわらばんやこのたまりば通信もFacebook上に掲載し、もっと広くたくさんの方々へたまりばのことを気軽に知ってもらえたら良いな～と思っています。また、Facebookページ開設と同時に、クレジットカードで会費・寄付のWeb決済もできるようになりました。詳しくはURL・QRコードから、もしくはFacebookで「フリースペースたまりば」と検索してみてくださいね。(もぐ)

<https://www.facebook.com/tamaribaNPO/>

指定管理施設

『やってみよう』がいっぱいある場所です 川崎市子ども夢パーク

川崎市高津区下作延5-30-1
TEL 044-811-2001 FAX 044-850-2059
<http://www.yumepark.net>



ブリュッケだより



～「昔話法廷」で裁判員裁判（仮称）をやってみた！～

先日、川崎合同法律事務所の畑弁護士をお呼びし、NHK で放映された昔話法廷「三匹のこぶた」を観賞した後“ブリュッケ裁判員裁判”を開催しました。被告は、オオカミを殺したこぶたの末っ子「トン三郎」。争点は、計画的犯行で有罪か？それとも正当防衛で無罪か？初めに裁判の供述や現場証拠などをもとに個人個人で有罪か無罪かを判断し発表します。ブリュッケではなんと4対4という結果に！その後、二つのグループに分かれて「なぜ有罪もしくは無罪と判断したか？」を詳細に語り合い、違う意見にも耳を傾け自分の先入観を疑いながら、より深く事実認識を深めていきます。ある程度議論が進んだところで、畑弁護士から「裁判で大事なものは、感情論ではなく事実を客観的に見ていくこと。一人一人の考えは違って当然で正しい答えもありません。だからこそ、対話の中でみんなで事実を明らかにしていきましょう。」と一言。最後に裁判員の意見を集約し判決が下され、「トン三郎」は有罪…。裁判は3時間に及びましたが、意見の違いを尊重し合いながら対話をしていくという豊かな時間をみんなと共有することができました。「昔話法廷」講座は今後も続きます！（佐藤）



HAPPY えんぱりだい

★2月の最終水曜日は、ピンクのシャツを着た少年がいじめられ、それにNOを訴えた少年たちから起きた、世界的ないじめ反対ムーブメント「ピンクシャツデー」！夢パークやえんもピンクを身につけた人で賑わいました。「いじめなんて嫌だ！」をみんなと共有しました。（しもん）

★3/1は西やんの60歳の誕生日！おもしろおかしくお祝いしたいねとみんなで計画をたて、寄書き入り赤いちゃんちゃんこをプレゼントすることに。えんに顔を出しに来たOBOGも巻き込んでたくさんの人たちからメッセージを集めました。当日は講座の桜井純恵さんの演奏でパースデーソングをみんなで歌い、子どもたちが赤いちゃんちゃんこを西やんに着せてあげました。藍染めTシャツと“かんれきだもの”と書かれた扇子も添えて、みんなでわいわい還暦をお祝いしました。（あかり）

★コハルちゃんとミズキちゃんと一緒に、いただき物の青首大根を干し大根にしました。30本分のカチカチに乾燥した大根を水で戻したら飴色に…大根の糖分が多いせいか、寒暖差の激しさか、初めてのことでした。ハリハリ漬けにして、みんなで美味しくいただきました。（三好）

西やんのつづき



新型コロナウイルスが猛威を振るって、世界中に不安と恐怖が広がっている。こんな時ほどおとなの冷静さが求められている。首相から一斉休校が突如要請されたときに最初に考えたことは、コロナの恐怖よりも、余裕がなくなったおとなから子どもへの虐待であった。外に出ることもできなくなった子どもたちが、家でゴロゴロ、ゲームばかりしている姿に耐えられない親たちが、子どもに暴言・暴力をふるうのではないかという心配が想定された。

非常事態のようなことが起きたとき、子どもにも親にも必要なのは、いつもと変わらぬ居場所があること。そこにいつもと変わらぬおとなや子どもがいること。こんな時だからこそ日の光を浴びて、思い切り遊べる環境を守ること。「遊ぶことは生きることそのもの」。息をするように、食事をとるように、遊ぶことを通じて、こころとからだの栄養を吸収する子どもたち。フリースペースも、いつものように開いていて、いつものように、毎日昼食をつくって食べる。そこに仲間がいる。ひとりじゃない。困ったときに話を聞いてくれるスタッフもいる。こうした居場所が必要であることを訴え続けてきた。NHKの「おはよう日本」や新聞にも取り上げられ、この機会に行政担当者とは何回にもわたる対話を通じて、いま必要なことを確認・共有することができた。

食べて・寝て・遊ぶ。自分の免疫力をあげることが、いま何よりも大切なこと。夢パーク・えんでは、入り口での検温、十分な手洗い、アルコール消毒の徹底を呼びかけてきた。誤解を恐れずに言うと、ここでのびのびと遊んでいる子どもたちは、たとえ感染したとしてもあまり恐れることはない、あるお医者さんから聞いた。ただ心配なのは、自分で感染に気づかない子どもたちが高齢者や疾患・障がいのある子どもたちにうつしてしまうこと。こちらはのちに関わること。みんなで子どもの権利について学んだときに、私が守られるということは、他者の権利も守るということがセットだった。

私たちはこれからも外出禁止令が出されない限り、毎日夢パークを開き続ける覚悟でいる。ではこの「弱い」立場にいる人たちのいのちを脅かすことがないようにするためには何が必要なのか、自分たちに何ができるのか。このことを子どもたちと一緒に考え、話し合いながら、最善の道を探っていきたいと思う。

（西野博之）



川崎若者就労自立支援センター
ブリュッケ

「Brücke」は、ドイツ語で「かけ橋」。

居場所で人と人がつながり、居場所から地域へ、地域から就労へ、様々なつながりが生まれていく。

そんな人から人への「かけ橋」になっていけたら…。

*ブリュッケでは、川崎市内にある福祉事務所のケースワーカーと連携し、15～29歳までの若者たちの居場所・就労支援を行っています。

インフォメーション

★詳しくは事務局まで★

※新型コロナウイルス対策による、イベント・企画の実施等の変更については、開催日が近づきましたらホームページでご確認をお願いします※

たまりばホームページ <http://www.tamariba.org>

Facebook

<https://www.facebook.com/tamaribaNPO/>

フリースペースえん 活動報告会

6月27日(土) 午後

★2019年度の活動報告をフリースペースえんで行ないます。
昨年はどんな一年間だったかな?一緒に振り返ろう。

フリースペースって、どんなところ?

「不登校」「ひきこもり」の子ども・若者の居場所づくりについて、画像等をまじえて「夢パーク・フリースペースえん」の活動紹介と質疑応答など意見交換を行ないます。

第1回 4月18日(土) 10:00~12:00

第2回 6月20日(土) 10:00~12:00

対象 フリースペース(居場所)の活動や、不登校・ひきこもりについて関心のある方
会場 川崎市子ども夢パーク内「多目的室」
参加費 500円 <要予約・先着20人まで>
申込み 第1回 3月16日、第2回 5月1日、ともに12:30から受付開始

※3回目以降についてはホームページでご確認ください。

ご支援いただきありがとうございます

(2019.12.15~2020.3.18)

NPO法人フリースペースたまりばに、応援会員として会費を入金してくださった方、カンパをいただいた方のお名前です。

(敬称略・順不同。希望されない方は掲載しておりません。

なお、掲載もれなどの不備がございましたら、事務局までご連絡ください。)

江藤省三、中村勇、宮崎芳正、山田恵理子、齋藤こえ子、佐々木直人・ともの、石川富士子、藤井景子、山本哲也・将也、田老伸匡、金子光希、田鎖美恵子、輿水典久、竹内昭・太郎、遠山直樹、大澤昭和、山崎祐子、新居龍太、井上孝、稲村英樹、清水善幸、鈴木みしお、新田学、北沢恵里、若杉慶嗣、村岡美和子、福本陽子、東靖士・大翔、小柳賢治・則子、田辺正透、佐藤研二・真理、石橋充行・大吉、町田恵美、清水利孝、矢崎達則、牛澤加津子、廣渡道明、白石つや子、よしださわか、マリック・サドルディン、加藤裕子、門田啓子、七川富美子、堀口正子、藤川英之・昂大、梨屋アリエ、住政二郎、寺田樹生、岡本宏次、長山亮子、永井優雅、鈴木明子、玉寄玲、山口貞子、田村虎羽、齋藤洋、三田恭一、渡邊敬、野末悦子、桑原俊三・優子、梅田美穂、桜井庸平、小林英紀、長谷川啓介、橋本誠一、橋爪裕次、渋谷剛、小林静子、株式会社 洗造 山口いずみ、本間良太、岡安玲、田坂知樹、山本真理、原陽子

※そのほかweb上にて、多くの方にご寄付いただきましたが、通信での公開の確認が取れていないため、お名前の掲載は控えさせていただきます。順次確認させていただきます。

応援会員募集中!!

フリースペースたまりばの活動のためにあなたのお力が必要です!

月払い会員、年払い会員、個人会員、団体会員など各コースあります

振込先→郵便振替口座 00200-2-57382 特定非営利活動法人 フリースペースたまりば

*郵便局の自分の口座からなら、手数料が無料で振り込めます。

※他金融機関からも入金できるようになりました。口座番号は↓(支店名を「セ」で検索してください)※

〇二九(ゼロニキュウ)店 (029) 当座 0057382

詳しくは事務局まで TEL 044-833-7562